

<p>【技術の名称】 和工法 ー先端拡翼付鋼管を用いた複合地盤補強工法ー</p>	<p>性能証明番号：GBRC 性能証明 第 22-30 号 性能証明発効日：2023 年 1 月 18 日 性能証明の有効期限：2026 年 1 月末日</p> <p>【取得者】 株式会社刃</p>
--	--

【技術の概要】

本技術は、先端鋼管内部に掘削刃を取り付けた先端拡翼部を接合した鋼管（以下、“補強材”と称す）の支持力と基礎底面下地盤の支持力を複合させることで、支持能力の増大を図った地盤補強工法である。

なお、本技術における補強材の先端部は、2022 年 1 月 11 日に(一財)日本建築総合試験所 建築技術性能証明 GBRC 性能証明 第 19-04 号改 2 として性能証明された刃工法の先端部の一仕様としており、この先端部に上蓋を介して細径鋼管を接続している。

【技術開発の趣旨】

本工法は、専用アタッチメントに先端ピースを取り付け、専用ロッドを用いて所定深度まで回転貫入したのち、細径鋼管を接合させることで、補強材の先端支持力確保に必要な耐力を有する細径鋼管を使用可能としている。本技術は、基礎底面下地盤の支持力と補強材の支持力を複合させて利用する複合地盤補強工法であり、細径鋼管を使用することで材料費の低減を図っている。

【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、補強地盤の鉛直支持力についてのみを対象としており、以下のとおりである。

申込者が提案する「和工法 設計・製造・施工基準」に従って施工された補強地盤の長期許容支持力度を定める際に必要な地盤で決まる極限支持力度は、同基準に定めるスクリーウエイト貫入試験結果に基づく支持力度算定式で適切に評価できる。

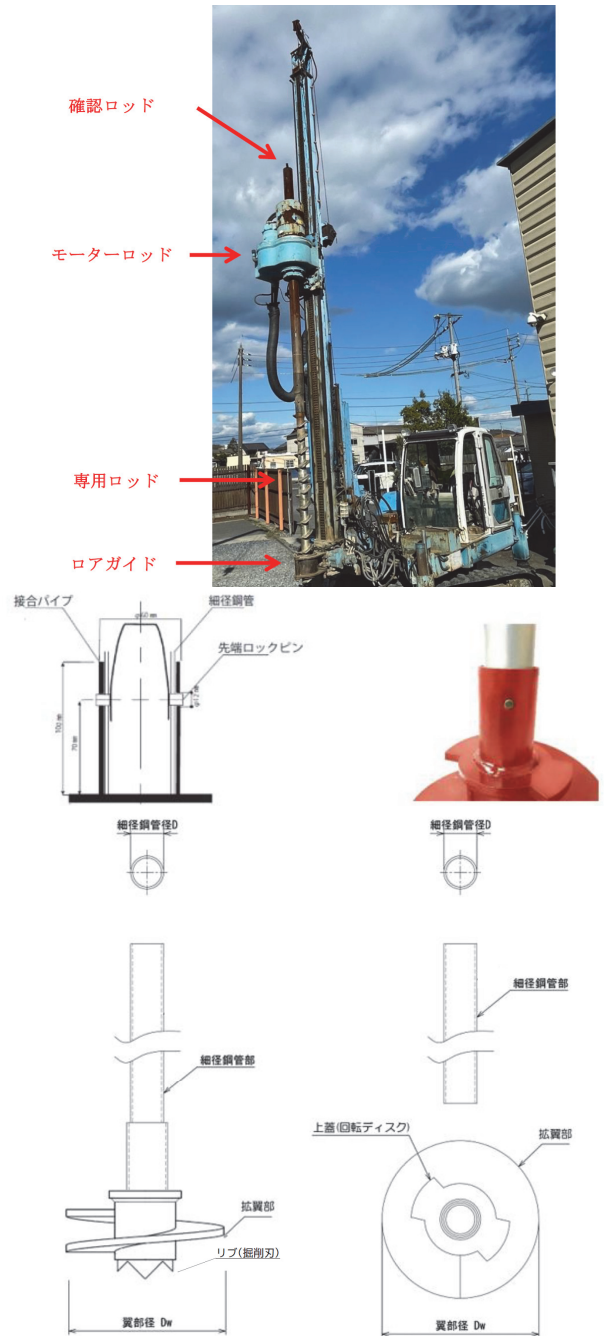


図 1 補強材の構成

【本技術の問合せ先】

株式会社刃 担当者：西野 康宏

E-mail : info@yaiba.co.jp

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜 2-12-12 新横浜 IK ビル 8 階

TEL : 045-548-3691 FAX : 045-548-3692